

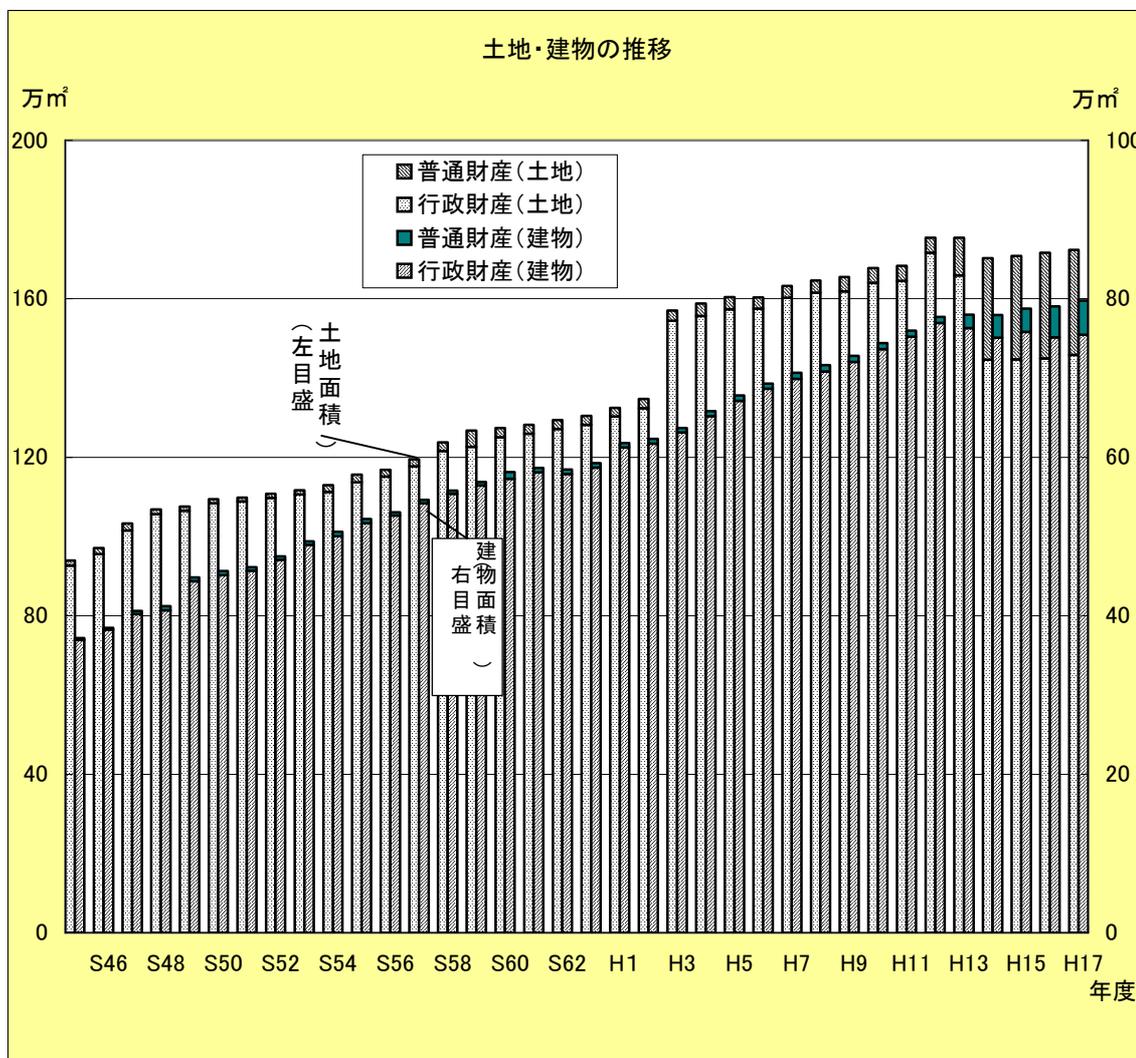
施設

概要版

白書

2007

平成 19年3月 杉並区



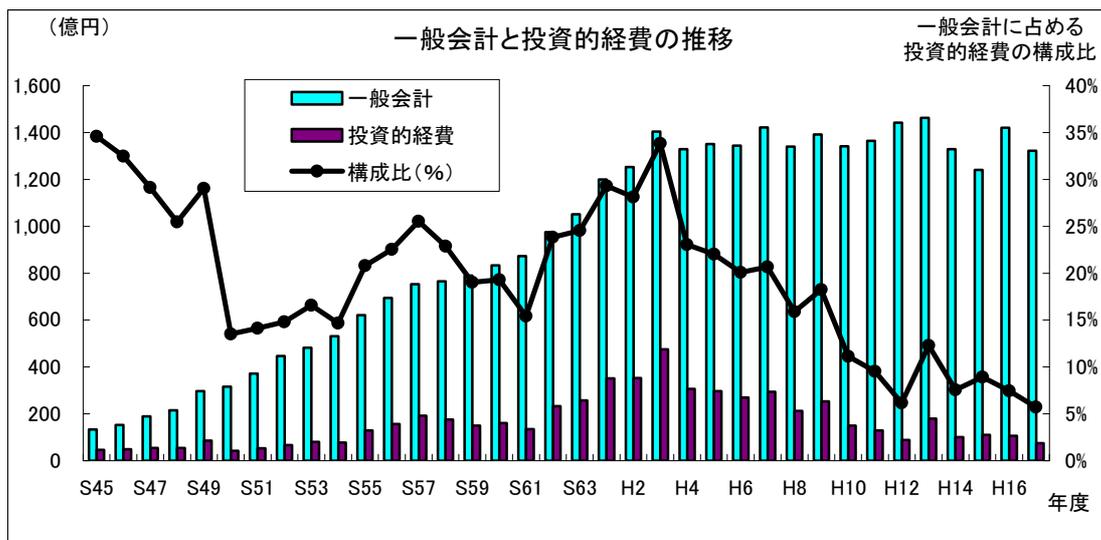
SUGINAMI CITY

歩きながら、元氣と文化が、すぎなみ
生まれる街。

1. 施設整備の推移と現状

- 1 区では、基本構想に基づき計画的に施設を整備してきました。
- 2 17年度末で土地170万㎡、建物80万㎡を保有しています。
- 3 建物の建設などに使う投資的経費は、一般会計の約6%です。
- 4 保育園、児童館の利用者は増加しています。小・中学校の児童生徒数は、ピーク時の半分以下になっています。
- 5 杉並公会堂は、公共的なホールとしては全国初となるPFI（民間資金活用）事業で整備しました。

■ 一般会計と投資的経費の推移

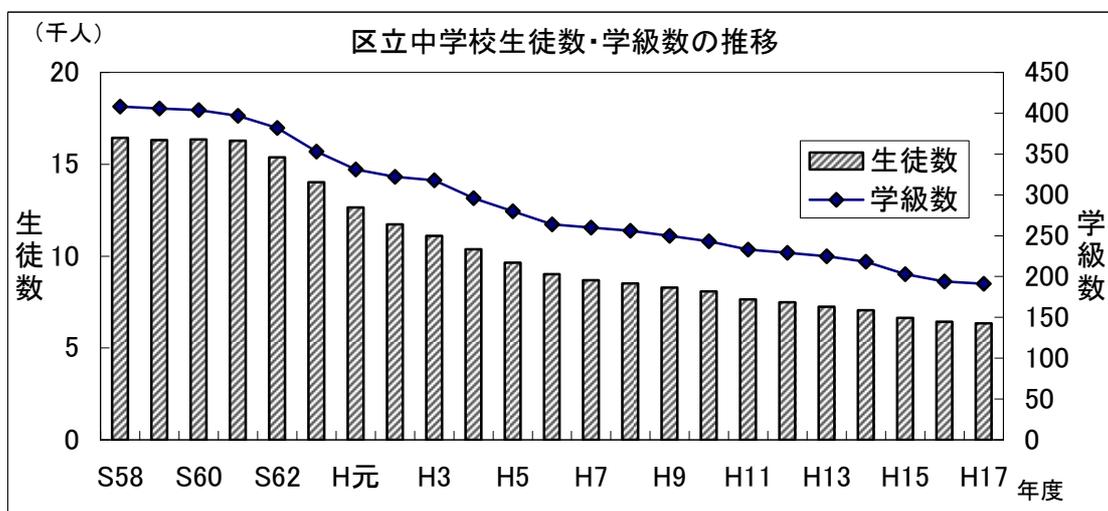
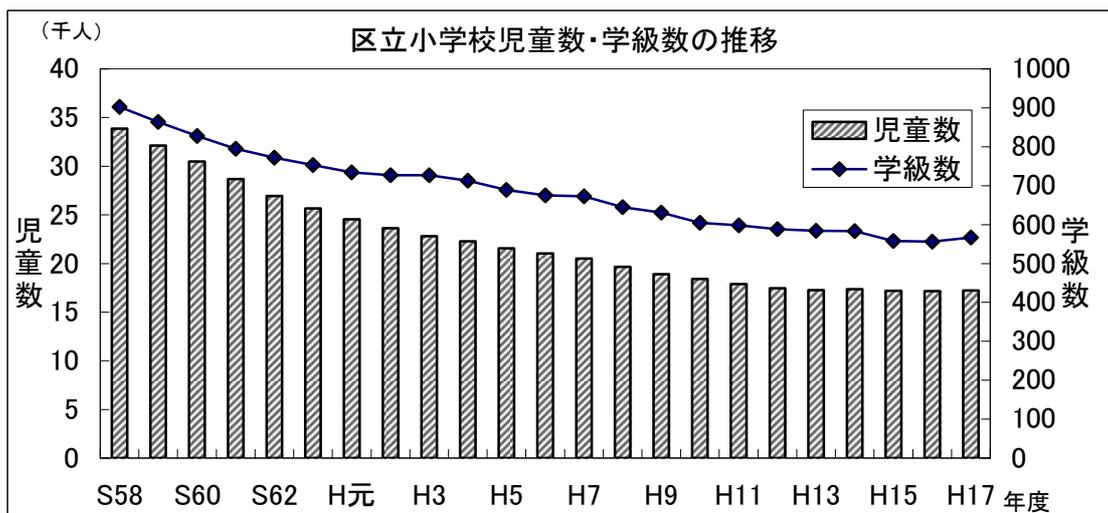


■ 主な施設の状況

施設名	施設数	総延べ床面積 (㎡)	平均床面積 (㎡)	備考
保育園	44	26,881.54	610.94	
児童館	41	25,253.03	615.93	児童青少年センター除く。
小学校	44	237,420	5,395.91	
中学校	23	148,956	6,476.35	
ゆうゆう館 (敬老会館)	31	7,204.60	232.41	
図書館	11	13,959.78	1,269.07	中央図書館除く。
地域区民センター	7	24,380.23	3482.89	
杉並公会堂	1	9,846.27		RC・SRC造一部S造/地下2階地上4階建

- 保育園**は、高井戸保育園（平成16年4月から）、高円寺北保育園及び荻窪北保育園（平成18年4月から）に指定管理者制度を導入し、現在3園を公設民営で運営しています。施設の老朽化等に伴い改築等が計画化されている園を基本に、公設民営化を実施することとしています。
- 児童館**は、子供の安全を脅かす事件の多発や多様化する子育てニーズへの対応を求める声が高まる中、「杉並区児童館等のあり方検討会」検討結果報告（平成18年12月）を踏まえ、今後地域の子育て支援の拠点としての機能強化等の具体化方針を策定し、可能なものから実現を図っていきます。
- 小・中学校**は、「杉並区小中学校適正配置基本方針（平成16年7月）」をもとに、平成18年2月には「杉並区立小中学校第一次適正配置計画（小学校の統合）」を策定し、杉並第五小学校と若杉小学校を平成20年4月に統合することとしました。
- ゆうゆう館（敬老会館）**は、平成17年9月「新たな時代の敬老会館のあり方検討会」において今後の方向性等が検討され、「生涯現役社会への地域拠点」として活用を図ることとしました。名称も新たに公募し、「ゆうゆう館」とすることとしました。
- 図書館**は、成田図書館は平成17年度から、平成17年11月に開館した方南図書館は開館時から、それぞれ業務委託により運営しています。平成19年度には、成田図書館及び阿佐谷図書館に指定管理者制度を導入し、南荻窪図書館を業務委託により運営します。
- 杉並公会堂**は、PFIの事業方式としてBOT方式（PFI事業者が資金調達、施設建設、契約期間にわたる管理・運営を行い、資金回収した後に区にその施設を譲渡移管する方式）を採用し、平成18年6月オープンしました。

■ 区立小中学校児童生徒数・学級数の推移



2. 施設コストの現状

1

区所有建物の施設維持費のうち、その他の委託料は高齢者在宅サービスセンターの利用料金制導入（15年度）・民営化（16年度）などにより、大幅に減少しました。

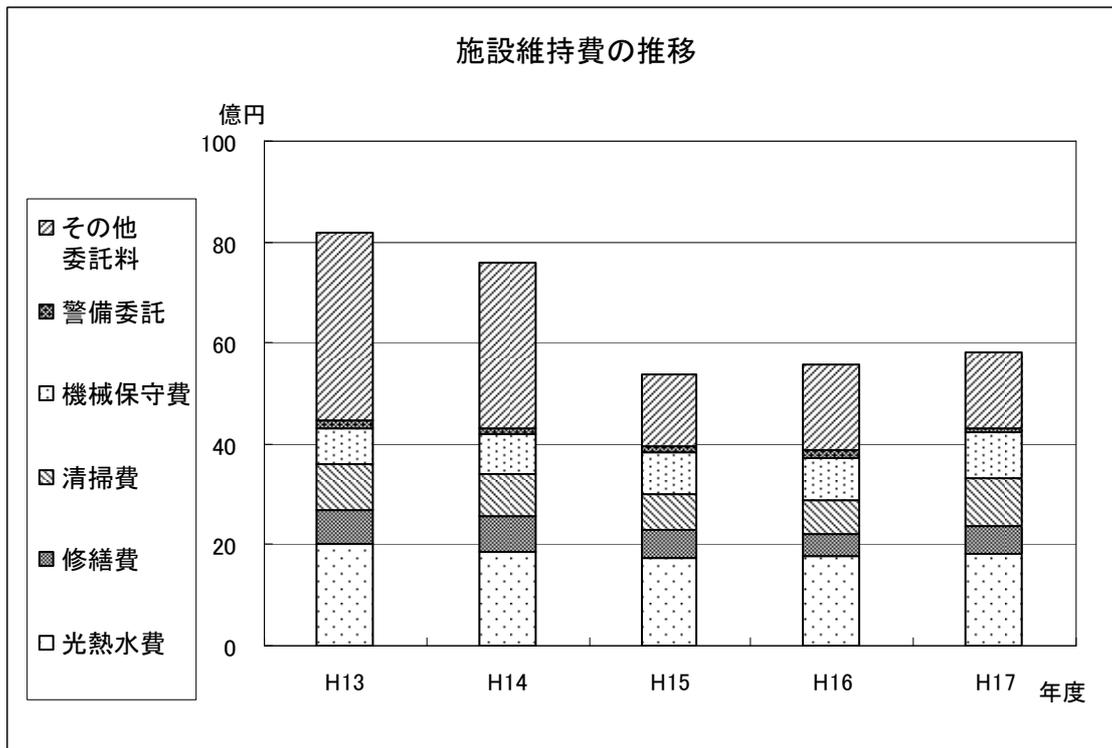
2

一施設あたりの人件費を加えた年間の施設管理経費は、保育園が約1億8千万円、小中学校が約8千万円、児童館が約6千万円となっています。

※用語の定義

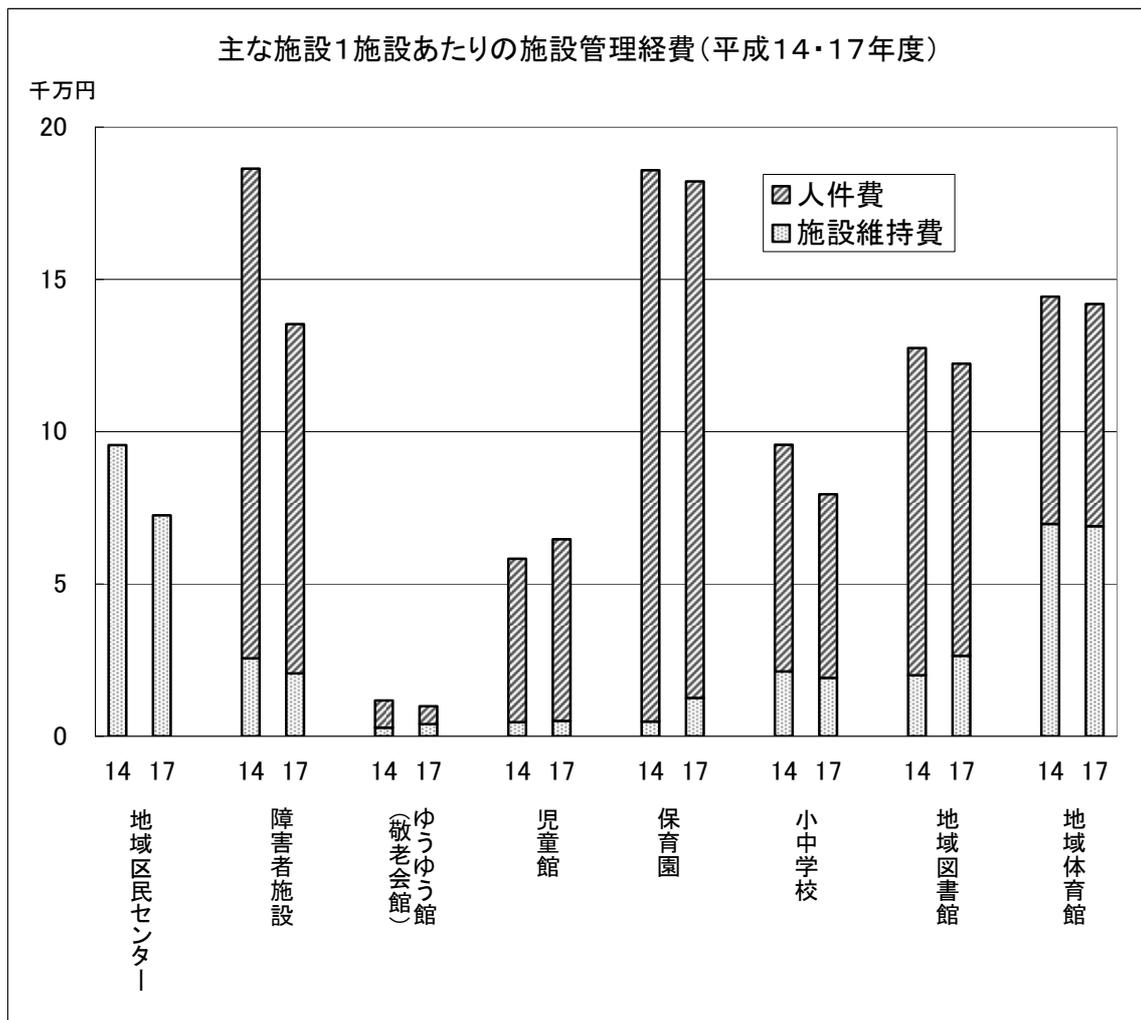
●「施設維持費」と「人件費」を加えたものを「施設管理経費」とします。

■ 施設維持費の推移



- 光熱水費は、平成13年10月にISO14001の認証を取得し、取組を進めたことにより減少した後、横ばいの傾向にあります。
- 修繕費は、施設の開設年次や目的により年度間に大きなばらつきが生じています。
- 清掃費や機械保守費などの委託費は、標準仕様書の作成等により削減に努めました。
- その他委託料は、高齢者在宅サービスセンターの利用料金制導入（15年度）・民営化（16年度）などにより、大幅に減少しました。

■ 主な施設の施設管理経費



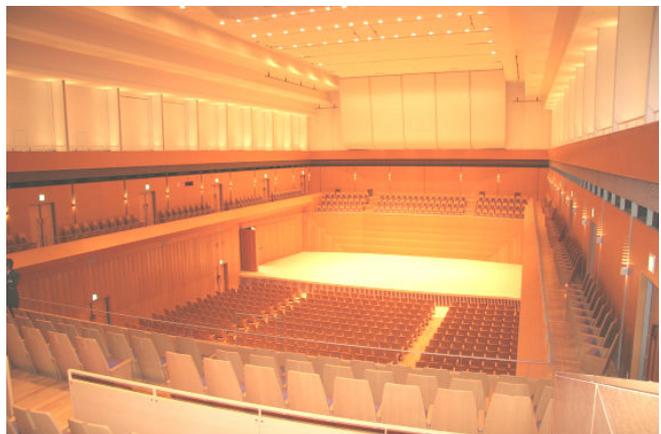
グラフ注

*1: 施設維持費は、光熱水費、修繕費、清掃費、機械保守費、警備委託費及びその他委託料とした。

*2: 人件費は、その施設に従事している区の職員の平均賃金で算出した。



●小中学校に設置した防犯カメラ



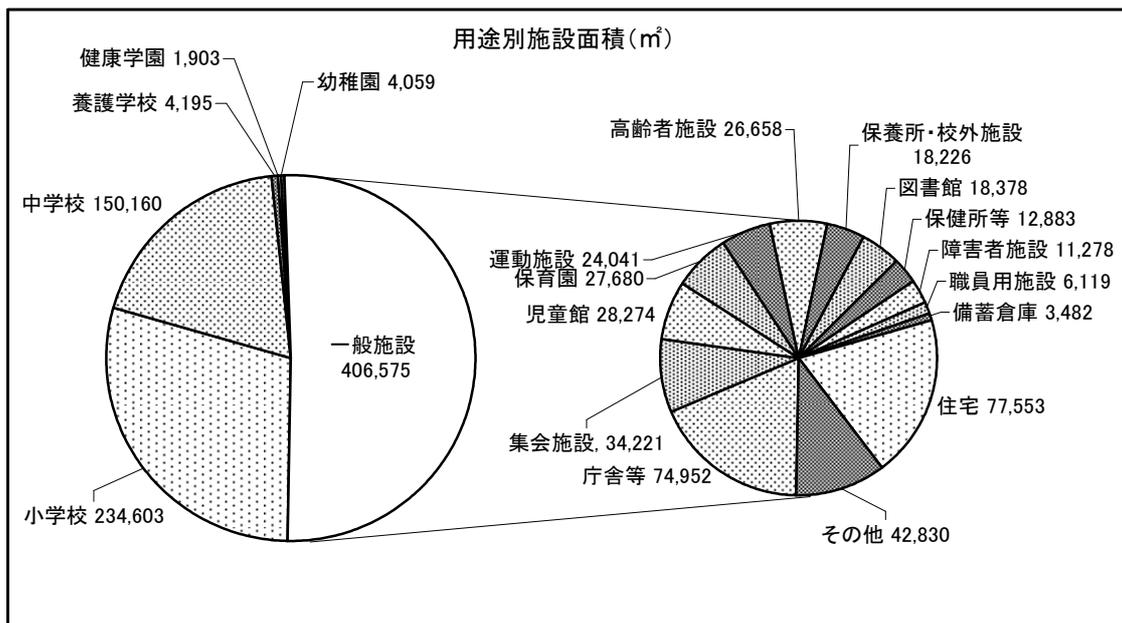
●杉並公会堂大ホール

3. 施設の改築・改修経費

- 1 平成22年ごろから、建築後50年の耐用年数を迎える施設が増えてきます。
- 2 小中学校の耐震改修工事は、改築対象になったもの以外は平成17年度に完了しました。
- 3 小中学校の改築経費を想定すると、平成22年に約90億円、平成25年からは毎年約80～130億円かかります。
- 4 学校を含めた全施設の改修経費は、毎年30～50億円かかります。

■ 用途別施設面積

●区が保有する施設のうち、約半分が一般施設、残りの半分が学校施設です。

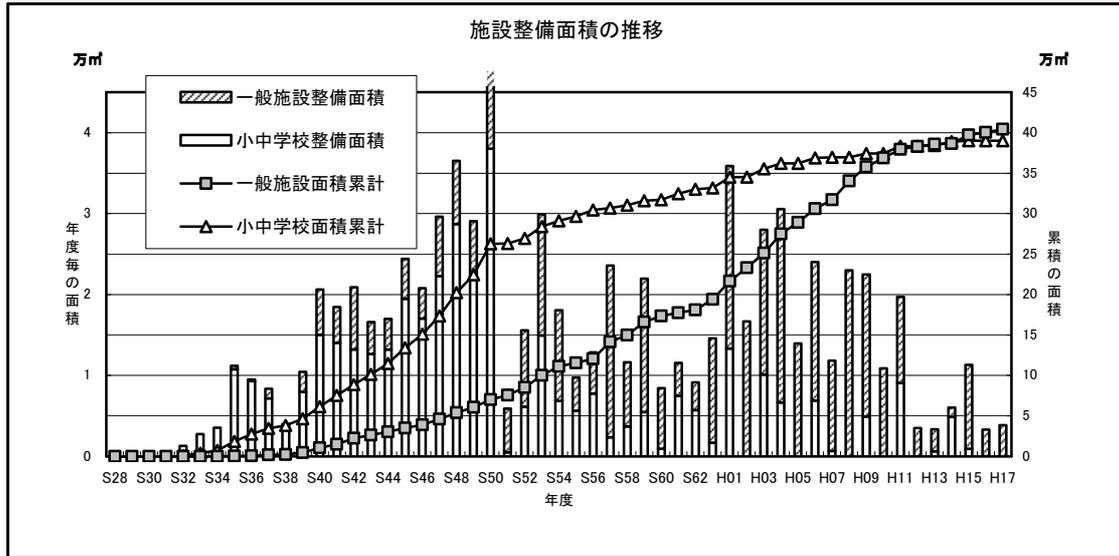


●壁面緑化と庇の詳細(杉並第七小学校)

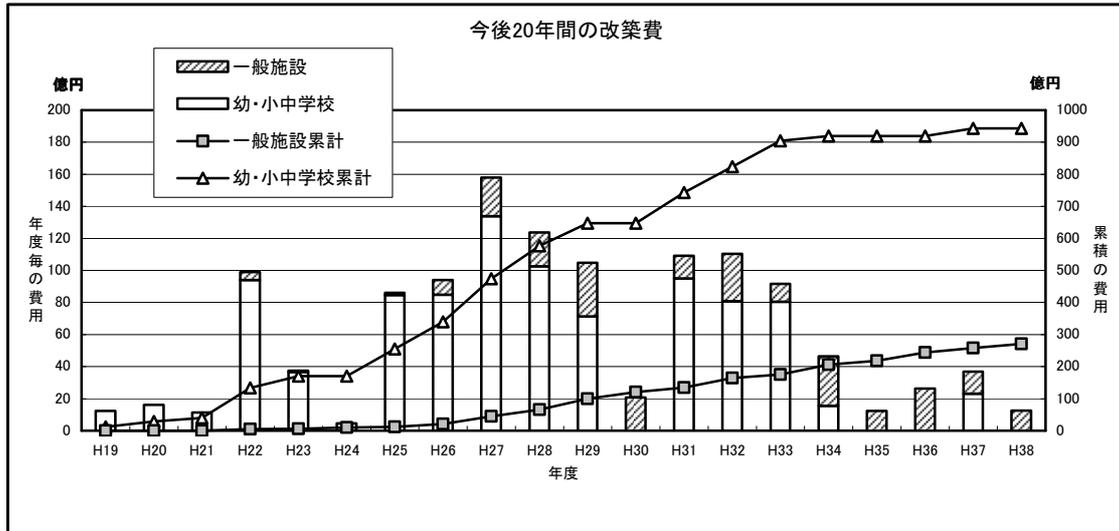


●校庭緑地化や壁面緑化などの実例(杉並第七小学校)

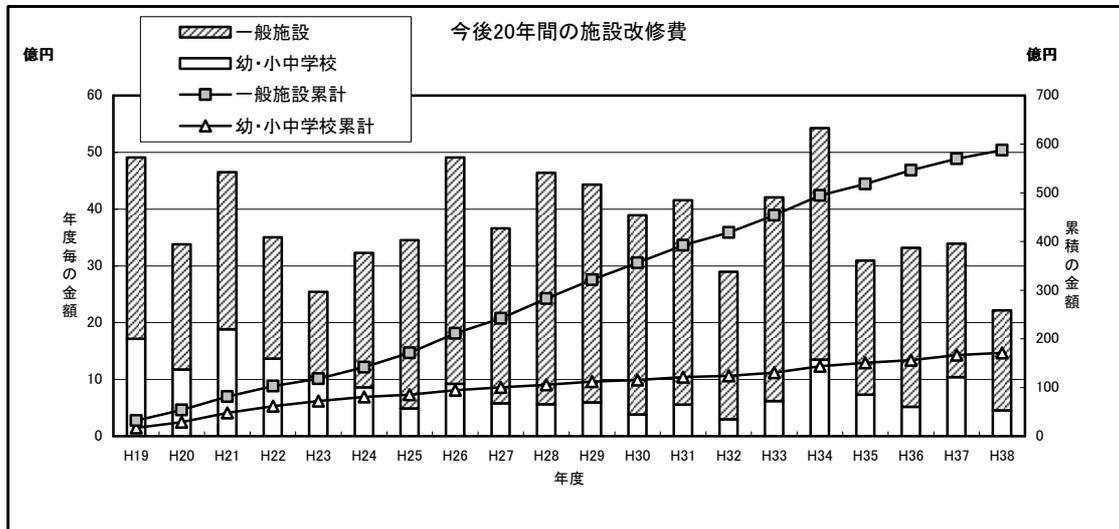
■ 年次別整備状況



■ 今後の改築費の想定

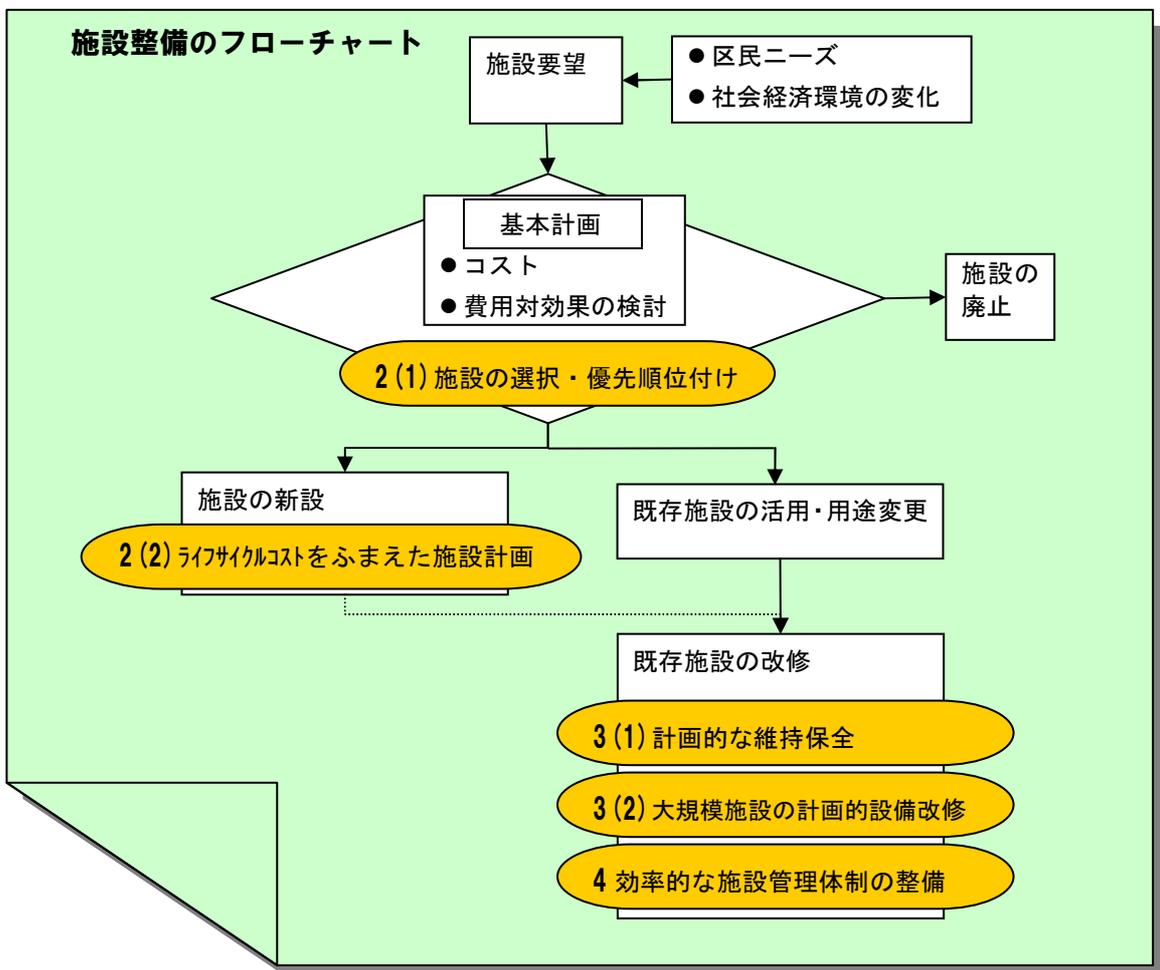


■ 今後の改修費の想定



4. 今後の施設整備のありかた

- 1 施設の建設は、統廃合や再配置を含めて適切な選択・優先順位付けを行なう必要があります。
- 2 今ある施設は、計画的に維持保全し、少しでも長く活用していく必要があります。
- 3 施設の維持管理は、民間の活力やノウハウを活用した効率的な方法を検討・実施していく必要があります。



施設白書 2007 概要版

発行日：平成 19 年 3 月



政策経営部 企画課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1

TEL03-3312-2111 (大代表)

登録印刷物番号

18-0173

●この印刷物は、再生紙を使用しています。